

授業科目	言語学 I (音声学・形態論)				
担当者	松井 理直				
実務経験者の概要					
学科名	言語聴覚専攻科	学 年	1 年	総単位数	1 単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

■ 内 容

日本語という言語の特徴をよく理解し、言語障害の分析に応用する。

■ 到達目標

日本語の音声・文字について、習熟する。

■ 授業計画

- 第1回 言語とは何か
- 第2回 構音器官について
- 第3回 国際音声記号の考え方
- 第4回 発声（有声・無声）と声帯の特性
- 第5回 調音方法の詳細
- 第6回 調音位置の詳細
- 第7回 日本語の母音について
- 第8回 日本語の無声阻害音の発音について
- 第9回 日本の濁音の特徴
- 第10回 その他の日本語分節音の特徴
- 第11回 アクセントとイントネーションについて
- 第12回 東京方言とアクセント核
- 第13回 日本語のそのほかの方言アクセントとイントネーション
- 第14回 文字について
- 第15回 漢字の種類とかな文字の特徴

■ 評価方法

筆記試験 80%、小テスト 20%

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

予習時間 1 時間程度。復習時間は個人の理解度によるが、1 時間程度。

■ 教科書

書 名：日本語音声学入門
 著者名：斎藤純男
 出版社：三省堂

■ 参考図書

--

■ 留意事項

授業中に分からないことがあれば、必ずその場で質問をすること。
質問は大歓迎なので、授業中に可能な限り内容を理解するようにしてください。
小テストを含む試験時に不正な行為があったと認められた者については、規定に定める第16条を適用し、当期科目の全ての試験を無効にする。

■ 講義受講にあたって